

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくもの

**【入力（記載）方法】**  
 ①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、  
 入力（記載）してください。  
 ②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5  
 列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●印を入力（記載）してください。  
 ③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右  
 から4列目）に記載してください。

基準		
完了	目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが無くなったもの	
継続	取り組みを実践しており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの	
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの	
未着手	着手できていないもの	

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全体)	まち協コード	まち協	取組番号(まち協コード)	具体的な取り組み									令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄								
				基本目標	内容			種別	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）			評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）	評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）		
					大	中	小		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	①市民	②主に市民と行政	③市民と行政	④主に行政						
471	8	宝塚第一	1	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.1 武庫川右岸のまちづくりの検討	1. 「宝塚商口、武庫川右岸のにぎわい」を考える湯づくり（今後の取り組みの検討）（1.5.1に再掲）	継続	新規	○	○	○					○		継続		宝塚温泉まつり、Uganまつり、生の石橋など市民主体で実行委員会を立ち上げ、規模拡大し内容を進化させながら、継続中。（すべて市制70周年開催事業）	継続		昨年度を上回る規模で地元自治会や商店を巻き込み、実行委員会を立ち上げ、宝塚温泉まつり（4/29）1500名・武庫川Uganまつり（10/21）1100人参加。宝塚ホテル跡再開発、マンション自治会設立に向けての協議を行う	
472	8	宝塚第一	2	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.1 武庫川右岸のまちづくりの検討	2 宝塚南口駅周辺の賑わいづくり（「生」のプロジェクト、「てん・ん宝塚現代美術など）	○		○	○	○	○	○	○	○	○		継続		・ランランバス委員会を地域で応援一温泉まつり、Uganまつり開催 ・宝塚アートプロジェクトが「宝塚現代美術 てん・ん 2023」を開催。 ・要どこの生の石橋継続。 ・宝塚まち遊び委員会は「旧山田住宅宅」一般公開を継続。 ・宝塚温泉まつり25団体100人の実行委員、地元自治会とお創りでレーベード・宝塚都市計画課が中心活性化WSを2年継続し、市民参加促進へ	継続		宝塚温泉まつり 4/29 来場者約1500名（宝塚市きずな推進事業行政連携3年目） Uganまつり 10/21 来場者約1100名 30ブース展開	
473	8	宝塚第一	3	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.1 武庫川右岸のまちづくりの検討	3 サンビオラまつりなど	○		○	○	○	○	○	○	○		継続			・まちづくり推進委員会で宝塚南口駅前渋滞問題解消、「歩車分離式信号機」導入に向けた議論へ（5/31）。	継続		今年度は開催なし	
474	8	宝塚第一	4	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	1 河川環境の整備	○		○	○	○	○	○	○	○		継続			・河川敷芝生化で緑の保全 ・市制70周年Uganまつりで兵庫県河川課と共に「宝塚大橋の養沢前灘工事完成」を祝う。県民局が行事進捗をブースで展示。 ・河川引川敷に軒落防止壁延長申入れ ・右岸と左岸をつなぐ会が旧羽田橋に代わる駐車場で「復活」などを申し入れ	継続		環境部会 地域支援の形式で、近隣自治会と調整の上の協働作業とする ・河川敷芝生化で緑の保全 ・市制70周年Uganまつりで兵庫県河川課と共に「宝塚大橋の養沢前灘工事完成」を祝う。県民局が行事進捗をブースで展示。 ・河川引川敷に軒落防止壁延長申入れ ・右岸と左岸をつなぐ会が旧羽田橋に代わる駐車場で「復活」などを申し入れ	環境部会 地域支援の形式で、近隣自治会と調整の上の協働作業とする ・河川敷芝生化で緑の保全 ・市制70周年Uganまつりで兵庫県河川課と共に「宝塚大橋の養沢前灘工事完成」を祝う。県民局が行事進捗をブースで展示。 ・河川引川敷に軒落防止壁延長申入れ ・右岸と左岸をつなぐ会が旧羽田橋に代わる駐車場で「復活」などを申し入れ
475	8	宝塚第一	5	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	2 街並み緑化活動の支援（「地域花壇の管理支援」「小中学校の緑の管理」等）	○		○	○	○	○	○	○	○		継続		・校区内12の花壇グループを支援 ・校区内公園の調査実施	継続		・校区内12の花壇グループに協力金提供 ・校区内公園の調査実施		
476	8	宝塚第一	6	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	3 まち美化一斎清掃	○		○	○	○	○	○	○	○		継続			自治会主体で年2回実施	継続		環境部会 自治会主体で年2回実施 地域交流部会 自治会で実施	
477	8	宝塚第一	7	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	4 ベットの飼い方マナーの向上	○		○	○	○	○	○	○	○		継続		・自治会および住民有志主体で野良猫の捕獲・TNR活動。随時	継続		自治会および住民有志主体で野良猫の捕獲・TNR活動。随時		
478	8	宝塚第一	8	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	5 喜鳥・害獣対策	○		○	○	○	○	○	○	○		継続		まちづくり推進委員会で害獣対策を審議	継続		自治会主体でアライグマ等の捕獲。随時		
479	8	宝塚第一	9	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	6 里山の保全	○		○	○	○	○	○	○	○		継続			・環境部会は他団体との協力にて、武庫山の森の協働作業。随時 ・温泉水まつりでは、櫻守の会が里山を保全するブース体験を出店	継続		環境部会 他団体との協力にて、武庫山の森の共同作業。随時 櫻守の会より講師派遣。里山保全の勉強会実施（3/10）	
480	8	宝塚第一	10	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	7 桜並木など街路樹の維持・管理	○		○	○	○	○	○	○	○		継続			自治会主体で、桜の老木の伐採。随時	継続		環境部会 自治会主体で、桜の老木の伐採。随時 地域交流部会 自治会で実施	
481	8	宝塚第一	11	1. 継承と発展（歴史・文化・環境・にぎわい）	1.2 緑の保全・環境形成	8 ゴミ削減に向けての資源回収・啓発活動の実施	○		○	○	○	○	○	○	○		継続			・自治会主体で、定期的にアルミ缶・古紙回収。	継続		・自治会主体で、定期的にアルミ缶・古紙回収。	

【令和6年度】進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

## 【入力（記載）方法

- ①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。

②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●印を入力（記載）してください。

③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを美術までおき（一部美術を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みや実践に問題で横断中（対話中）のもの
未着手	着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全 体)	まち協コニ ード	まち協	取組番号(ま ち協コニ ード)	具体的な取り組み												令和6年度進捗確認欄				令和5年度進捗確認欄					
				内容			種別	スケジュール(西暦)				役割分担 (協働の領域)				備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考(進捗確認)	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考(進捗確認)			
								第6次総合計画(前期)		2020年 度	2021年 度	2022年 度	2023年 度	2024年 度	2025年 度	①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政						
大	中	小	継続	新規	実施	予定	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手	未着手			
482	8	宝塚第一	12	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環境形成	9 不用品交換会などリユースの促進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・一小宝梅ハウスにてフードドライブ実施	継続	・一小宝梅ハウスにてフードドライブ実施
483	8	宝塚第一	13	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.2 緑の保全・環境形成	10 環境に配慮したイベント運営、参加者・理解者の拡大の工夫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・グリーンアンドバイザーを講師に迎え、奇才講習会を実施。11/16Uganまつりで実施（参加者50名）	継続	・グリーンアンドバイザーを講師に迎え、奇才講習会を実施。11/14実施（参加者24名）
484	8	宝塚第一	14	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.3 公園・集会所の整備	1 空き家、マンション集会場等の地図資源調査、活用の検討	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・重点プロジェクトAで、アピア、サンビオラ内の中空スペースの利活用しようとリサーチ中	継続	・公共の施設がない一小校区、自治会館もない地域で、少しでも活用できる場所がないか検討（防災・福祉など多面的に）
485	8	宝塚第一	15	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.3 公園・集会所の整備	2 校区の公園の役割見直し（過去に実施した公園調査の成果の再整理、追加）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・重点プロジェクトCと連携・公園マップを作成中	継続	・重点プロジェクトDと連携
486	8	宝塚第一	16	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.3 公園・集会所の整備	3 公共空間の有効活用に向けた市・開発者との調整（集会所、公園の集約化など）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・宝塚ホテル跡地の公園空地の利用について協議組合のHTTOWAさんと宝塚市で公園空地の利活用、コミュニケーションデザインを協議中	継続	環境部会 重点PJ次世代支援D MAPづくりのため公園の実態調
487	8	宝塚第一	17	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.4 地域への愛着と誇りの醸成	1 地域的魅力再発見（住民が地元のよさを再認識するまち歩きなどを実施する）（1.6.1に再掲）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・宝塚第一小学校の旧建物と旧温泉街を歩く授業として「トトシャーハンター」を地域、学校、育友会と共に（6/6） ・地域交流部会はまち歩き事業を継続 ・宝塚温泉まつり実行委員会は、宝塚市観光課とまち歩き実行委員会とタソングラフウェブで温泉まつり運営MAPなど作成し配布 ・まち歩き開催以外で「ナリの湯のまち歩き」を広めたり、大森の緑化プロジェクトへ協賛し「宝塚に温泉あり」を大坂園内の住民にアピール。花のみちフラッグへ温泉まつり運営君が採用。 ・宝塚都市計画課が武庫川河川敷での市民WSで住民が地元の良さを再認識するWSを開催し、パン祭りや河川敷でのテント宿泊など様々な事業が生まれた。	継続	地域交流部会 (1) 6/4 「旧跡の小浜宿のまちあるき」 参加26名 (2) 9/2 「商店街を盛り上げる学生と交流（池田市）」 参加10名 (3) 9/17 「波豆川親子ヌタ体験」（見守り） 体験参加80名 (4) 11/18 「妙見山ケーブルとリフト体験」 参加5名
488	8	宝塚第一	18	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.5 地域密着型の事業を展開	1 「宝塚南口、武庫川右岸のにぎわい」を考える場づくり（1.1.1に掲載）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	宝塚温泉まつり、Uganまつり、生の石橋など市民主体で実行委員会を立ち上げPDCAを回しながら毎年、規模拡大しながら進化させながら、すべて市制70周年官民協働事業として展開しています	継続	重点プロジェクト担当Aの地域交流部会が中心に「地域交流ネットワーク会議」を開催。住民同士で課題を洗い出し必要に応じて要望書を作成し官民協働事業をまちづくりを進めています
489	8	宝塚第一	19	1. 継承と発展 (歴史・文化・環境・にぎわい)	1.6 地域のお店や事業者を利用	1 地域の魅力再発見（1.4.1に掲載）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・温泉まつり、Uganまつりでは、ブース出店として地元のお店（Lukkura、淡路屋、カレー、株蔵等）が出店、地域の活性化や事業者との連携による「温泉まつり地元事業や関係者やお土産」の販売も実現。来場者数は年々増加傾向にある。補助金を申請しない自走型に成長	継続	宝塚温泉まつり 4/29 来場者約1500名（宝塚市きずな推進事業行政連携3年目） 旧温泉街写真展示、宝塚音頭体験など Uganまつり 10/21 来場者約1100名、30ブース展開 近隣店舗や団体からブース出店
490	8	宝塚第一	20	2. 地域をつなぐ(つないで、あえるまちづくり)	2.0 情報の収集・共有・発信	1 地域情報の把握・共有	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	・まちづくりプロジェクトで地域情報を発信 自治会等で地域情報収集に取り組み、広報紙に取り上げて	継続	一小まち協ブログで地域情報を発信 自治会等で地域情報収集に取り組み、広報紙に取り上げて

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくもの

【入力（記載）方法】

①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、

入力（記載）してください。

②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●印を入力（記載）してください。

③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準		
完了	目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが無くなったもの	
継続	取り組みを実践しており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの	
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの	
未着手	着手できていないもの	

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全体)	まち協コード	まち協	取組番号(まち協ごと)	具体的な取り組み									令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄					
				基本目標	内容			種別	スケジュール（西暦）			役割分担（協働の領域）			備考	評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）	評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）
					大	中	小		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政			
491	8	宝塚第一	21	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.0 情報の収集・共有・発信	2. 広報紙発行・全戸配布体制の強化		○	○	○	○	○	○	○	○			今年度より年2回発行（7月・3月）とする。	継続		まち協広報誌を年3回発行 No.51(7/1) No.52(11/15) No.53(3/31) まち協広報紙は自治会や管理組合等の協力を得て配布 配布協力員が広報紙持ち込み時に配布の協力への呼びかけを積極的に行なった。自治会の活動など地域の活動も紙面に反映するとともに、読み手に書きやすい紙面づくりを工夫した。公民館やサンピオラなどに広報紙を置いてもらった。
492	8	宝塚第一	22	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.0 情報の収集・共有・発信	3. ブログ発信・体制・ルールの検討		○	○	○	○	○	○	○	○			会長が自ら積極的に活動の様子を一小まち協ブログにて発信を行なった。年間141の発信を行なって、閲覧者のアップにつながっている。	継続		ブログによる情報発信（まち協の活動、自治会はじめ地域の活動）を都度行った（各部会・本部）会長が積極的にUP閲覧者の増加につながった。
493	8	宝塚第一	23	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.0 情報の収集・共有・発信	4. 広報板の充実と活用		○	○	○	○	○	○	○	○			市の広報板だけでなく、自治会や個人が設置している広報板などを利用してチラシ等の表示を行なった。店などでチラシの張り出し、設置の協力も得た。	継続		市での広報板だけでなく、自治会や個人が設置している広報板などを利用してチラシ等の掲示を行なった。
494	8	宝塚第一	24	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.1 多世代が交流する場づくり	1. みんないっしょ夏まつりなどの実施（4.4.2に再掲）		○	○	○	○	○	○	○	○			校庭が工事などで使用不可のため、U-GANまつり（1/2/16）約1500人参加 夏まつり（4/29）約2000人参加 地域の前でして走査	継続		環境部会 夏まつり：校舎耐震工事のため中止 ・U-GANまつり（10/21）共催 ・温泉まつり（4/29）協力 地域交流部会 小学校耐震工事のため校庭使用できず。
495	8	宝塚第一	25	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.1 多世代が交流する場づくり	2. 宝梅ハウスでの地域住民の交流の場づくり（「宝梅ハウスまつり」等）		○	○	○	○	○	○	○	○			宝梅ハウス ・宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・宝梅ハウスの内、外の広報版を活用して地域情報を、まち協イベント等のポスターを掲示している ・くつろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカラ移動カフェ第4水曜日開催	継続		宝梅ハウス ・宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・宝梅ハウスの内、外の広報版を活用して地域情報を、まち協イベント等のポスターを掲示している ・くつろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカラ移動カフェ第4水曜日開催
496	8	宝塚第一	26	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.1 多世代が交流する場づくり	3. 宝梅ハウスを地域情報など情報発信の場とする		○	○	○	○	○	○	○	○			宝梅ハウス ・宝梅ハウス祭り 内容の充実（バージョンアップ） 助成金活用 参加者の増大等 ・宝梅ハウスの内、外の広報版を活用して地域情報を、まち協イベント等のポスターを掲示している ・くつろぎカフェ毎週水曜日午後開催 ツカラ移動カフェ第4水曜日開催	継続		広報委員会 ・ハウス内外に広報紙などを張り出し、まち協活動紹介、地域活動を紹介 ・広報版にチラシ等を張り出し
497	8	宝塚第一	27	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）	2.1 多世代が交流する場づくり	4. 宝梅ハウスの認知度を上げる（評議委員会でPR、自治会見学会の実施等）		○	○	○				○				宝梅ハウス ・くつろぎカフェやシニアの趣味の教室を活用して作品作りをしている。	継続		宝梅ハウス ・くつろぎカフェやシニアの趣味の教室を活用して作品作りをしている。

【令和6年度】進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくものです

【入力（記載）方法】

- ①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、  
入力（記載）してください。  
②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「○印を入力（記載）してください。  
③その他進捗確認に必要な項目については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右  
から4列目）に記載してください。

基礎	
完了	目的を達成し、取り組みを完了したもの。課題やニーズが無くなったもの
継続	取り組みを実践 しており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中	取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手	着手していないものの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全 体)	まち協 まち協 コード	取組 番号(ま ち協 と)	具体的な取り組み												令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄			
			基本目標	内容			種別	スケジュール(西暦)			役割分担 (協働の領域)			備考	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考(進捗確認)	評価	次年度 対話希望 (優先順位 又は●を要 入力)	備考(進捗確認)	
				大	中	小		20 20年 度	21 21年 度	22 22年 度	23 23年 度	24 24年 度	25 25年 度	① 市民	② 主に市民	③ 市民と行政	④ 主に行政				
498	8	宝塚第 二	28	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.2 生きがいを もつて地域で活躍す る場づくり	1 シニアの生きがい、活躍の 場づくりの検討(世代の枠 を超えて集まる機会、場づく りを促進する。個々の持つ能 力を發揮する場を創る。ひい ては地元の防災力を高め る。)		○	○	○	○	○	○	○	○			・多世代交流事業夏休み工作教室での地 域先生としての参画	継続		地域交流部会 ・7/16 地域ネットワーク会議開催 「市民として行動する次世代メンバーシップの 構築～中高生の活躍の場をどう創造するか～」 講師：川中大輔氏 参加 20名
499	8	宝塚第 一	29	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.2 生きがいを もつて地域で活躍す る場づくり	2 地域で活躍する人材の発 掘・確保(ナレッジ運営スタッフ の発掘が急務)		○	○	○	○	○	○	○	○			・Ugan祭りにて、アンケートを行い、 まち協活動に興味があるか聞いた。7 0%以上の方が興味を持っていることが わかった。	継続		校区15のサロンと社協など参加する「福祉地 域ネットワーク会議」で交流と立案
500	8	宝塚第 一	30	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.3 地域での見守 り、支えあいの充実	1 心れあいサロンの活用、 支援(身近な居場所として、 健康増進、いきがいづくり、 情報発信の重責なし場)	○		○	○	○	○	○	○	○			・福祉研修バズツアーア 滞談方面(10/ 15) 校区12サロンより5名参加 ・ぶれあいサロン交流会の開催(3/1 4) 校区10サロンより25名参加	継続		一小宝梅ハウス 「つづきカフェの開催(毎週水曜日) サロン交流会の開催 3/19 宝塚公会堂
501	8	宝塚第 一	31	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.3 地域での見守 り、支えあいの充実	2 健康づくり活動の推進 (いきいき百歳体操、ラジオ 体操等)	○		○	○	○	○	○	○	○			・春休み・夏休みラジオ体操の開催(校 区12箇所) 追べ3000名参加 ・100歳体操実施	継続		いきいき百歳体操の開催 校区自治会、サロ ン等 夏休みラジオ体操の開催(一小チャームラジオ体 操共催) 7/23~8/28 校区12箇所 春休みラジオ体操の開催(一小チャームラジオ体 操と開催) 3/26~4/6 宝塚南口河川敷
502	8	宝塚第 一	32	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.3 地域での見守 り、支えあいの充実	3 踊がりや認知症、 LGBT、外国籍など多様な藝 らし、文化を学ぶ機会づくり (3.3.2に再掲)		○	○	○	○	○	○	○	○			・Uganまつりのテーマは命と共生。地 元で暮らす、踊がり者や高齢者がゆっくり 交流する居場所を目的としています 手話サークルから手話歌のイベント、舞 連隊団員の施設から大喜利企画、手をつ なぐ育成会などから物販など舞台やブー ズで表現・交流する時間としてつながり を作っています。	継続		地域交流部会 ・10/21 Uganまつりのテーマは「共生」。 講師等団体がブース出店
503	8	宝塚第 一	33	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.4 生活支援サー ビスの充実	1 医療や介護の専門家との 連携	○		○	○	○	○	○	○	○			宝梅ハウス 「つづきカフェ開催日に合わせて野菜、 果物、お菓子等の販売することでカ フェに来られている方々の買い物負担の 軽減になり事務所への就労支援にも繋が る取り組み。(こむの事業所移動販売)	継続		福祉部会 こむの事業所移動販売 毎週水曜 宝梅ハウス 宝梅ハウス 「つづきカフェ開催日に合わせて野菜、果物、 お菓子等の販売することでカフェに来られて いる方々の買い物負担の軽減になり事務所への 就労支援にも繋がる取り組み。(こむの事業所 移動販売)
504	8	宝塚第 一	34	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.4 生活支援サー ビスの充実	2 買い物代行、支援などの 生活支援の充実		○	○	○	○	○	○	○	○			コープ買い物代行センターの啓発	未着手		
505	8	宝塚第 一	35	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	1 マンション・コミュニ ティ実行委員会立ち上げ		○	○	○					○			・まちづくり推進委員会などで、マン ションにお住いの方との話しをする機 会を持ちました。 ・社協さんとマンション支援のNPOで勉 強会を継続	調整中		まだまだ難しい状況だが、プロジェクトA・Cと 連携して進める方向性を出した。
506	8	宝塚第 一	36	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	2 地域のPRツールづくり		○	○	○					○			・現在のUgan祭りなどの地域イベン ト、まちづくり推進委員会、広報誌を活 用してマンションに住まいの方へのPR を行いました。	調整中		PRツールづくりは未着手だが、ますまち協を 知ってもらうため ・広報誌の配布を通してのつながりづくり。 (配布担当者が管理組合に声掛け) ・インベントリのチラシ配布
507	8	宝塚第 一	37	2. 地域をつなぐ (つどい、支えあ えるまちづくり)	2.5 マンション居 住者等とのコミュニ ケーションの場づく り	3 モデルマンションとの話 し合い		○	○	○					○			・宝塚ホテル跡地のマンションコミュニ ティを担当するOIWAKAさんとやり合 う機会を得ました。今後の交流を通して地 域行事への参加やコミュニケーションの 手法を学ぶ機会を作っています。	継続		・旧宝塚ホテル跡地のマンション開発にか かる話し合いを継続。管理組合が立ち上 がら、協議できる場を作る方向で調整中。 ・プロジェクトへの防災会議や訓練等の参加者や、 まちづくり推進委員会でマンション住民の声 聞いた。

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくもの

【入力（記載）方法】

①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。

②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●印を入力（記載）してください。

③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準											
完了											目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが残くなったもの
継続											取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中											取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手											着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全体)	まち協コード	まち協	取組番号(まち協ごと)	具体的な取り組み									令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄							
				基本目標	内容			種別	スケジュール（西暦）			役割分担（協働の領域）			備考	評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）	評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）		
					大	中	小		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政					
508	8	宝塚第一	38	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.5 マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり	4 マンション防災・福祉検討プログラムづくり	継続	○	○	○					○		継続		• Ugan祭りでアンケートを行い、防災について不安をお持ちの方が多数いらっしゃるというご意見を得ました。	調整中		プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出した。
509	8	宝塚第一	39	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.5 マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり	5 マンション防災・福祉検討プログラム実施	継続	○			○	○	○		○		継続		• 防災委員会の防災訓練や福祉ネットワーク会議等への参加を呼びかけた。 • プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出した。	調整中		・防災委員会の防災訓練や福祉ネットワーク会議等への参加を呼びかけた。 ・プロジェクトA・Cと連携して進める方向性を出した。
510	8	宝塚第一	40	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.5 マンション居住者等とのコミュニケーションの場づくり	6 マンション居住者の見守り体制づくり（マンション内外の孤立を防ぎ、近隣の住民との支えいを図る）	継続	○	○	○	○	○	○		○		調整中		• 孤立を防ぐ体制作りはできていません。	調整中	プロジェクトB 地域交流部会・福祉部会や他のプロジェクトと一緒に取り組む方向性を出した。	
511	8	宝塚第一	41	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.6 地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり	1 地域福祉ネットワーク会議の開催（地域の福祉課題解決のための交流）	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続		• 地域福祉ネットワーク会議開催年2回 「子どもたちを取り巻く現状を学んでみないか～」 • 7/8「難波ひよ当事者の声を聞いてみないか～」 参加者5名 講師：特定非営利活動法人ことこ あいえるせんたく • 2/3「子どもたちを取り巻く現状を考える」 参加者45名 講師：一般社団法人楽笑 代表理事 石井克馬氏	継続		地域福祉ネットワーク会議の開催 • 7/8「難波ひよ当事者の声を聞いてみないか～」 参加者5名 講師：特定非営利活動法人ことこ あいえるせんたく • 2/3「子どもたちを取り巻く現状を考える」 参加者45名 講師：一般社団法人楽笑 代表理事 石井克馬氏
512	8	宝塚第一	42	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.6 地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり	2 福祉ブロックの整備（住民の意見を反映した、日常及び非常時に支えあうブロックの整備）	継続	○	○	○	○	○	○		○		調整中			未着手		
513	8	宝塚第一	43	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.6 地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり	3 ブロックごとの拠点確保（日常の居場所であり、災害時の一時避難の場、情報発信の場）	継続	○	○	○	○	○	○		○		調整中			継続		各地区で拠点となりうる場所を選定し一小校区防災デジタルマップに反映するため、行政と用語やマークなど統一するための調整中
514	8	宝塚第一	44	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.6 地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり	4 校区内地域ごとの情報整理・共有（GIS（地理情報システム）を活用して、情報の分析を促進する）	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続		一小校区防災デジタルマップの作成	継続		一小校区防災デジタルマップの作成
515	8	宝塚第一	45	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.6 地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり	5 地域交流ネットワーク会議の開催（地域の課題解決のために団体の窓口の情報の交流）	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続		阪神淡路大震災30周年祈念行事として「あの日を語ろう」と語り合って、当時の映像を使って、当時の宝塚市長、元教員、などが経験を語り合い、若き世代も参加し継承へ動き出す。	継続		地域交流部会 • 7/16 地域ネットワーク会議開催 「市民として行動する次世代メンバーシップの構築～中高生の活躍の場をどう創造するか～」 講師：川中大輔氏 参加 20名
516	8	宝塚第一	46	2. 地域をつなぐ（つどい、支えあえるまちづくり）		2.6 地域の課題解決に向けた話し合いの場づくり	6 西谷地区ではじめとする他地区との交流事業（課題を解決するために連携する）	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続			継続		地域交流部会 • 9/17 宝塚市北部西谷地区波豆川でカヌー体験 参加50名
517	8	宝塚第一	47	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	1 防災教育事業の推進（「児童防災訓練」等）	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続		1月24日 第一小学校4年生対象に児童防災を実施	継続		1月25日 第一小学校4年生対象に児童防災を実施
518	8	宝塚第一	48	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	2 防災訓練の実施	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続			継続		地区防災委員会 2024/1/10 LINEを使った安否確認と避難所開設訓練実施
519	8	宝塚第一	49	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	3 避難所開設訓練の実施	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続			継続		2024/1/10 LINEを使った安否確認と避難所開設訓練実施 防災備品の確認と段ボールベッド組み立てなど
520	8	宝塚第一	50	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	4 防災設備（倉庫、無線、情報伝達手段など）の充実と整備	継続	○	○	○	○	○	○		○		継続			継続		避難所開設訓練で備蓄品の確認 圧倒的に備蓄品が少ないため、今後必要な物数を検討していく 情報共有システム「一小校区防災デジタルマップ」作成
521	8	宝塚第一	51	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	5 自主防災会ごとの防災方針の作成	継続	○	○	○					○		調整中			継続		各自治会、自主防災会が取り組む課題を出し合い、解決にむけた進捗確認をした

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくもの

【入力（記載）方法】

①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。

②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●印を入力（記載）してください。

③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準		
完了		目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが無くなったもの
継続		取り組みを実践できており（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中		取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手		着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全体)	まち協コード	まち協	取組番号(まち協コード)	具体的な取り組み									令和6年度進捗確認欄			令和5年度進捗確認欄						
				内容			種別	スケジュール（西暦）					役割分担（協働の領域）			評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）	評価	次年度対話希望（優先順位又は●を要入力）	備考（進捗確認）	
								2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政					
				大	中	小	継続	新規										未着手				
522	8	宝塚第一	52	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	6 ブロックごとの地区防災計画の作成	○	○	○	○			○				未着手			継続	
523	8	宝塚第一	53	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	7 ブロック単位防災訓練、避難訓練の実施	○		○	○	○	○	○	○			未着手			継続	
524	8	宝塚第一	54	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.1 災害時への対応、防災計画づくり	8 防災のリーダー育成	○	○	○				○				継続		地区防災委員会を通じて防災について取り組むなかで、防災士、防災リーダーの資格を取得する人が増えつつある	継続	
525	8	宝塚第一	55	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.2 一時避難所の設定	1 宝梅ハウスの避難所としての利用の検討（改修も含め）	○	○	○				○				調整中		ハウスを情報拠点として活用できないか、今後市と協議する。	継続	
526	8	宝塚第一	56	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.2 一時避難所の設定	2 小学校への避難困難地区での一時避難所の検討・設置	○	○	○	○	○	○	○	○			継続		校区の特性として一時避難所にできるような施設が無い	未着手	
527	8	宝塚第一	57	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.3 災害時要援護者の把握と日常的な顔の見える関係づくり	1 災害時要援護者支援体制の充実	○	○	○	○	○	○	○	○			継続		今年度、地区防災委員会に民生児童委員にも参画してもらっているが、要援護者支援体制については未着手	未着手	
528	8	宝塚第一	58	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.3 災害時要援護者の把握と日常的な顔の見える関係づくり	2 聴がいや認知症、LGBT、外国籍など多様な暮らし、文化を学ぶ機会づくり（2,3,3に掲載）	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・福祉勉強会（6/25）～オルタナティヴ教育とは？留学生との意見交換会	継続	10/21 Uganまつりのテーマは「共生」で、障害者団体がブースを展開。		
529	8	宝塚第一	59	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.4 交通インフラの充実	1 校区住民の移動手段の確保を考える（広い校区と坂道などの課題も、移動手段があれば、拠点の位置の問題も緩和される）	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・ランランバス運営委員の努力でローカル定期バスは定着し、バスの乗客率がアップし、小型から中型バスへ・温泉まつり、Uganまつりでランランバス運営委員がコースを出し、存在意義を住民で相互理解。地域で応援する気運が広がる。	調整中		ランランバス委員会で協議	
530	8	宝塚第一	60	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.4 交通インフラの充実	2 滞滞緩和	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・まちづくり推進委員会で宝塚南口駅前渋滞問題削減へ、「歩車分離式信号機」を導入可決、歩行者の道路安全向上を県、市へ政策提言	調整中		宝塚ホテル跡地整備連絡会で開発業者と交渉	
531	8	宝塚第一	61	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.4 交通インフラの充実	3 道路の安全性の向上（スピード抑制、道路拡幅・改善等）	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・まちづくり推進委員会で宝塚南口駅前「歩車分離式信号機」を導入可決、歩行者の道路安全向上を県、市へ政策提言	継続		安全部会が設置した古い電柱交換を進める	
532	8	宝塚第一	62	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.5 危険箇所の改善・パリアフリー化	1 通学路の見守り	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・コミュニケーションスクール、まちづくり推進委員会など地域の会議で通学路の見守りボランティアの募集を話し合う	継続		育友会愛護部と話し合いをし、広報紙に見守りボランティア募集の記事掲載。まちづくり推進委員会で提案	
533	8	宝塚第一	63	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.5 危険箇所の改善・パリアフリー化	2 交通安全の啓発（交通安全全教室の実施等）	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・コープこうべ宝塚店より「横断中」の旗を50本を提供。育友会愛護部へ届ける	継続		今年度は第一小学校での自転車教室開催できず。	
534	8	宝塚第一	64	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.5 危険箇所の改善・パリアフリー化	3 校区内の安全対策（危険箇所の見守り、改善等）	○	○	○	○	○	○	○	○		継続			継続	電柱幕の整備	
535	8	宝塚第一	65	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.5 危険箇所の改善・パリアフリー化	4 校区内危険の改善（年に1回、行政側と進捗を協議確認）	○	○	○	○	○	○	○	○		継続	・宝塚警察、宝塚市、兵庫県などと通学路の安全向上へ道路整備を現地調査して改善を話し合う	継続		9/15 小学校安全対策委員会より、県や市などと合同で通学路安全点検実施	
536	8	宝塚第一	66	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.6 防犯対策の充実	1 防犯活動の啓発	○	○	○	○	○	○	○	○		継続				自治会で実施	
537	8	宝塚第一	67	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.6 防犯対策の充実	2 アトム110番など地域での見守り	○	○	○	○	○	○	○	○		継続				自治会で実施	
538	8	宝塚第一	68	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.6 防犯対策の充実	3 防犯カメラの設置	○	○	○	○	○	○	○	○		継続				自治会で実施	
539	8	宝塚第一	69	3. 思いをひろげる（安全・安心）		3.6 防犯対策の充実	4 街路灯の増設	○	○	○	○	○	○	○	○		継続				自治会で実施	

【令和6年度 進捗確認シート】※このシートは令和7年（2025年）6月13日までに市民協働推進課へ提出いただくもの

【入力（記載）方法】

①「評価」欄（以下表の右から6列目）に、右記の中から該当する評価項目を選び、入力（記載）してください。

②次年度対話希望の取り組みについては、「次年度対話希望」欄（以下表の右から5列目）に「希望の優先順位（数字）」又は「●印を入力（記載）してください。

③その他進捗確認に必要な内容については、「備考（進捗確認）」欄（以下表の右から4列目）に記載してください。

基準											
完了											目的を達成し、取り組みを完了したものの、課題やニーズが残くなったもの
継続											取り組みを実践しております（一部実践を含む）、次年度以降も引き続き取り組むもの
調整中											取り組みの実践に向けて検討中（対話中）のもの
未着手											着手できていないもの

【具体的な取り組み一覧表】 2024/7/10 現在

取組番号(全体)	まち協コード	まち協	取組番号(まち協コード)	具体的な取り組み									評価	令和6年度進捗確認欄	令和5年度進捗確認欄	備考(進捗確認)					
				基本目標	内容		種別	スケジュール(西暦)					役割分担(協働の領域)								
					大	中		2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	①市民	②主に市民	③市民と行政	④主に行政					
540	8	宝塚第一	70	3. 思いをひろげる（安全・安心）	3.6 防犯対策の充実	5 門灯の点灯	継続	○	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	自治会で実施	継続	自治会で実施
541	8	宝塚第一	71	3. 思いをひろげる（安全・安心）	3.6 防犯対策の充実	6 消費者教育の実施（特殊詐欺被害防止啓発等）	継続	○	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	自治会で実施（LINEを使い情報共有）	継続	自治会にて実施
542	8	宝塚第一	72	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.1 子どもたちのあそびの場づくり	1 小っ子遊ぼう会への支援（新しい担い手づくり）	継続	○	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	放課後の学校開放は月2回開催。2024年度は20回実施。児童参加約400人、保護者見守り参加約160人。事業継続には事務局体制や新しい担い手が必要。	継続	2023年度 遊ぼう会 9月まで耐震工事のため開催中止 開催回数 6回 児童の延べ参加数 779名 お手伝いの保護者延べ人数 47名
543	8	宝塚第一	73	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.1 子どもたちのあそびの場づくり	2 子どもの習い事に部屋を貸し出す（世代間交流につなげる）	継続	○	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	地域の教室に部屋の貸し出しを継続している。成果発表の場として宝梅ハウスまつりで作品展示や発表の場を設けた。	継続	地域の教室に部屋の貸し出しを継続している 成果発表の場として宝梅ハウスまつりの中で作品の展示や発表の場を設けた
544	8	宝塚第一	74	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.2 中・高校生向けの空間づくり	1 自習室として地域の拠点の開放を検討	継続	○	○					○			○	継続	プロジェクトDとして宝梅ハウス年間9日開放、のべ200名が使用	継続	宝梅ハウス ・宝梅中学校の定期考査前の土日に10時～16時まで宝梅ハウスを開放して学習の場として学生に利用してもらう。
545	8	宝塚第一	75	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.2 中・高校生向けの空間づくり	2 音楽や運動などができる場の確保	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	○	調整中	クラブの地盤移行を来年へ控えて、関係団体の連携が急がれる	調整中	プロジェクトDで調整中
546	8	宝塚第一	76	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.3 中・高校生が地域で活躍する場づくり	1 防災行事・まつり等地域活動への参加、実行委員会への参加推進	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・温泉まつりでは未就学児童や小学生がお御輿を担ぎ、Uganまつりでは地元の中高生が匂香会進行するなど表現活躍の場を構築	継続	プロジェクトD これまででも夏休み作業室などに参加する機会はあったが、企画段階からより積極的に参加できるような場を検討していく 地域交流部会 宝塚温泉まつり、UGAN祭りで中学生が司会進行、各ブース運営に参加。	
547	8	宝塚第一	77	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.4 世代間交流の推進	1 世代間交流事業の推進（「工作教室」等）	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・夏休み世代間交流事業～夏休み作業室の開催（7/23）参加者150名	継続	福祉部会・子育て部会合同開催 世代間交流広場（工作教室） 7/25 国際・文化センター 160名参加	
548	8	宝塚第一	78	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.4 世代間交流の推進	2 みんないっしょ夏まつりなどの実施（2.1.1に再掲）	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・夏まつりに代わり世代間交流を目的に命、共生、食をテーマのUganまつりを継続中。 ・工事のため夏まつり校庭使用不可	継続	今年度も夏まつり中止 これに代わる世代間交流の場としてUganまつりなどを実施	
549	8	宝塚第一	79	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.5 子育て世代の場づくり	1 子育て世代の交流の場づくり（ひれあいサロン等開催）	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・子育てふれあいサロンの開催毎月第2金曜日開催。11回で延べ300名参加	継続	毎月、第2金曜日を順次に福祉部会と子育て部会合同で「子育てふれあいサロン」を宝梅ハウスで開催。未就学児とその保護者の交流の場となっている。	
550	8	宝塚第一	80	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.5 子育て世代の場づくり	2 子育てグループへの支援（子育てサークルの広報等）	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・一小っ子遊ぼう会への支援。月2回校舎の放課後開放へ見守り支援	継続	こもとのカーニバル 福祉部会と子育て部会合同で参加協力	
551	8	宝塚第一	81	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.6 コミュニティスクール（学校・保護者、地域で子育て、地域育て、学校育て）	1 「一小の教育現場の課題」の検討	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・学校環境適正化委員会、コムニティスクール、まちづくり推進委員会など地域の会議で「大規模校の弊害」など教育環境の課題を話し合	継続	ミニティ・スクールは3回開催（5/17）（12/15）（2/15）重点目標、地域との連携、学校の現状、学校運営、学校評価など多岐にわたり意見交換をしました。	
552	8	宝塚第一	82	4. 次世代を育む（将来・未来の担い手を育成）	4.6 コミュニティスクール（学校・保護者、地域で子育て、地域育て、学校育て）	2 青少年関係団体の連携強化	継続	○	○	○	○	○	○	○		○	継続	・育友会でトップが不正や口喧嘩などで組織力がハランク不全に陥り、固体間の連携がうまくなくなり、まちづくり委員会が運営され、それを認める保護者は保護者で内部改善を達成し機能を取り戻す。団体間の連携の前に民主主義的自治回復を地域がサポートをいた。青少年団体間の連携が進み、次世代担い手が育成された。	継続	育友会、遊ぼう会との連携はあるも、スポーツ21、学校応援団、寺子屋、青少年育成市民会議、青少年歩道委員などとの連携を深めることで課題。	